

# みつけ通信

珠洲市立宝立小中学校だより  
令和元年12月号



〒927-1222  
珠洲市宝立町鶴飼丑部 83 番地  
TEL 0768 (84) 1106・(84) 1119

## 親への感謝

校長 間庭喜久夫

11月5日、私の母親が95歳で亡くなりました。大往生でした。私を産み、育て、支えてくれた母。最後は、骨と皮だけになって反応もできない状態でしたが、それでも生きていてくれただけで、何か心のよりどころとなっていたような気がします。本当に骨だけになって、十余年ぶりにわが家に戻ってきたのだけれど、何か心に穴が開いたような気がします。

改めて、親のありがたさを感じます。思春期では、いちいち親の言うことに反感を抱き反発していたことも、今となっては懐かしい思い出でもあり、後悔でもあります。親があってこそその学習だったのだと思います。「親の心子知らず」「親孝行したいときには親はなし」のことわざが心にしみます。

6年生の道徳に「お母さんへの手紙」という教材があります。重い心臓病でなくなった佐江子さんが、お母さんに書き残した手紙が題材となっています。そこには、命の大切さとともに、お母さんへの感謝の気持ちが綴られています。学習を終えて、6年生に親への手紙を書いてもらいました。一部を紹介します。

「今までありがとう。お母さん、今まで自分を育ててくれてありがとう。入学してからはや6年、背もだいぶ大きくなったよ。これもお母さんのおかげです。これからはつらいことなど色々あると思いますが、これからもよろしくね。」

「お父さん、いつもお仕事おつかれさま。休みの日に作るごはんはとてもおいしいです。お母さんは夜ごはん朝ごはんを作ってくれてありがとう。お母さんとハグしたらとても落ち着きます。これからもよろしくお願いします。」

「いつもごはんとかいろいろ作ってくれたり、私たちのめんどうを見てくれてありがとうございます。これからも、ごはんとか、めんどうとかよろしく願います。」

## 12月の行事予定 ※紙面の都合上、一部の掲載となります。

1	日	世界エイズデー 珠洲市子ども大会 (5・6年) 8:45～緑丘中
2	月	交通安全当番 安全点検 読書ボランティア 期末テスト (7～9年) 校内研修会
3	火	期末テスト (7～9年) 県評価問題 (5年・8年)
4	水	期末テスト (7～9年) 市子ども美術展 (12/4～12/11 シーサイド) 第71回人権週間 (～12/10) (小) クラブ
6	金	全校集会
9	月	先輩教員から学ぶ授業づくり講座 (本校)
11	水	【B日課, 5限まで】第2回義務教育学校合同研修会
12	木	【B日課】 集金日 職員会議
13	金	ブロック集会 集金日
17	火	【B日課】小中委員会
20	金	小中別集会⑧
24	火	スプリングコンテスト (中) 児童生徒集会 小中別集会 終業式
25	水	通知表渡し・個人懇談
26	木	校内研修会

## ◇防犯リンゴの収穫

### 6年生 (緑の少年団)



10月29日(火)、事前にシール貼りをしてあった防犯リンゴを収穫しました。山岸りんご園さんで、宝立地区防犯委員、珠洲署員の方々と一緒に、1個1個丁寧にもぎ取り、シールをはがしました。

これらのリンゴは、珠洲署や公民館・保育所などの玄関に飾り、防犯意識の向上に役立てられました。また、給食にもおいしくいただきました。

## ◇ハロウィン読み聞かせ

### 前期課程 (1～6年)

10月31日(木)、ハロウィンということで、松原先生が「大きなかぼちゃ」の読み聞かせをしてくださいました。そのお話に出てくる魔女や吸血鬼、ミイラ、ゆうれい、コウモリの姿を先生方が演じました。みんな楽しそうに見ながらお話を聞いていました。



## ◇いしかわっ子駅伝交流大会

### 5・6年生



11月2日(土)、西部緑地公園陸上競技場で行われた第14回いしかわっ子駅伝交流大会に参加してきました。大勢の中で緊張しながらも、自己記録更新を目指して頑張りました。男女チームとも最後までたすきをつないでゴールすることができました。

## ◇青潮祭 全校

11月9日(土)に青潮祭が開催されました。

今年のテーマは「Link」～令和に僕らがつなぐこの瞬間～でした。精一杯の演奏・演技に大きな拍手がおくられました。



祭り太鼓



モザイク画の披露



鼓笛演奏(4~6年)



合奏と歌(1~3年生)



合唱(7~9年生)



全校合唱



PTA合唱



中期ブロック(5~7年)  
「消えた少年」  
「失敗すること」ってダメなことなのだろうか…考えさせられる劇でした。



前期ブロック(1~4年)  
「ほんとうの宝ものは」  
宝物は月の水? 宝石? 爆弾? お年寄り? 本当の宝物は何だろうか?



後期ブロック(8・9年生)  
「人間失角」  
核を持つことは強いこと? 核と角をかけて、「大きな一手より小さな一歩」をじわじわ訴える劇でした。

## ◇進路保護者会 9年生

11月15日(金)、能登高校と飯田高校の先生方をお招きし、各高校の生活やカリキュラムの特色などを話していただきました。後半は来年度受験のための手続きやスケジュールについて確認をさせていただきました。前半には8年生も参加し、一年後の自分へのモチベーションアップに役立ったのではないかと思います。9年生は、いよいよ本番です。高校生活でやりたいことを具体的に持って、学力を高めていってほしいです。



## ◇税についての作品表彰式 8年生 高瀬君

11月13日(水)、「税についての作品」の表彰式が輪島市文化会館で行われました。本校からは、作文の部で「輪島税務署長賞」を受賞した高瀬裕司君が参加してきました。堂々とした態度で自分の作品を読み上げる姿は、とても凛々しかったです。

### 祖母を救った税金(珠洲市立宝立小中学校 8年 高瀬裕司)

小学校の入学式を間近にひかえた日の夜に祖母が突然倒れた。すぐに僕の両親は市の病院に連絡して、救急車を呼んだ。しばらくすると、救急車がかけつけて祖母を遠く離れた金沢の病院まで運んでくれた。僕はまだ幼かったので、確かな記憶はあまりないが、両親に「おばあちゃんが倒れた」と聞かされて驚いたのは覚えている。病院に着くと、親せきの人も多く集まっており、ただならぬ雰囲気を感じた。もしかしたら、祖母はもう帰らぬ人になってしまうのでは、と心配したがすぐに手術が行われて、祖母は無事一命をとりとめた。この知らせを聞いて、僕はとっても安心した。祖母の命を助けてくれた医師にも感謝したが、祝日の真夜中だということに、祖母を金沢の病院まで運んでくれた救急救命士の方に対してもありがたく思った。



それから何年かして、学校で税金についての講習を受けた。その講習で、警察や消防、そして病院などの公共機関には税金が使われているのだと学んだ。祖母を救ってくれた医師や救急救命士の方達は税金がなければいなかったのだ。もし税金がなければ、祖母は本当にいなくなっていたのかもしれない。そう考えると、税金があつて良かったと心の底から思った。

また、税金は図書館や学校などの僕の生活にも役立てられているとも分かった。僕が学校に通って友達と一緒に勉強したり、図書館で好きな本を借りることができるのも、税金のおかげだと分かった。さらにビデオで、もし税金がなかったら、どんな世の中になるのかを見た。ビデオでは、橋が台風でこわれても誰も修理する人がいなかったり、ごみを出してもいつまでも回収されないなど、目を見張る光景が映っていた。これには驚いた。税金は本当に、僕たちの生活のいたるところに生かされているんだなと思った。税金といえば消費税ぐらいしか知らず、なぜ買い物をする時により多くの代金を支払わなければならないのか、不思議に思っていた。だが、それらの税金は僕達のために役立てられ、僕達の生活を支えてくれているのだと知った。

僕は今、税金という制度にとっても感謝している。税金のおかげで僕の祖母は救われたし、税金のおかげで僕達の生活は裕福で充実したものになっているのだと知った。誰かの税金が誰かの生活を支えているということが分かった。これはとても良いことだし、税金を納めれば社会の一員として貢献できるということだ。大人になったら、払う税金の種類も増えるらしいが、僕も大人になったら「このお金はだれかのためになるんだ」と思いながら、ほこらしく税金を払っていきたいと思う。

## ◇ありがとうございます

11月19日(火)学校菜園に畑を貸していただいている山崎さんから、たくさんの柿を提供していただき、給食でおいしくいただきました。1学期には、地域の消防団のみなさんからスポーツドリンクの寄付をいただき、運動会練習時の水分補給などに役立てさせていただきました。改めて、地域の皆様に大切にされていることを実感しています。ありがとうございます。

